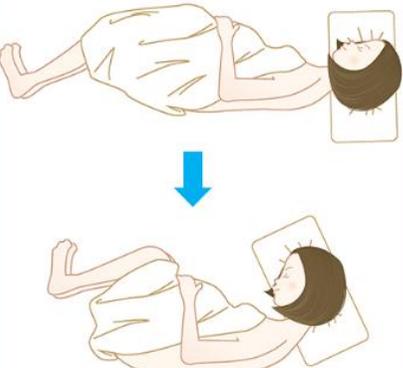


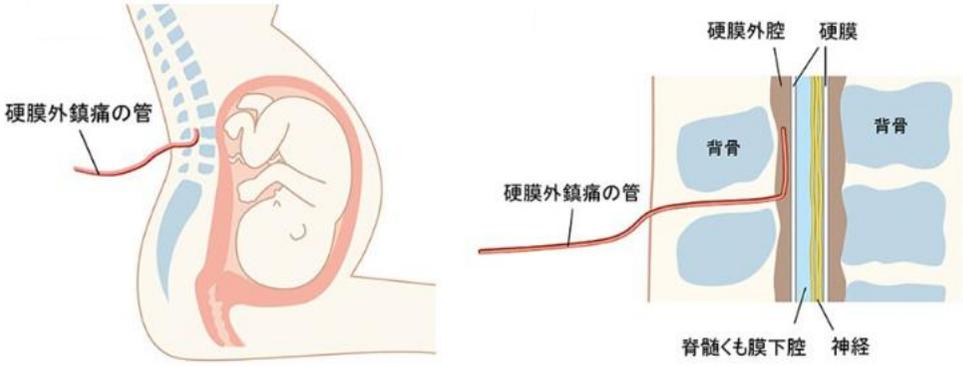
計画無痛分娩  入院～分娩までのながれ 

| | 無痛分娩前日 | 無痛分娩当日 | | |
|-----------|---|---|--|--|
| 計画無痛分娩の流れ | <p>【入院後】</p> <ul style="list-style-type: none"> 採血があります。 子宮口を熟化させるため、風船のような器具を子宮口から挿入します。 所見によって、陣痛を起こす薬を内服します。 <p>※経産婦さんの場合、入院日は診察のみとなる場合があります。</p>  | <p>【朝】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産科医師による診察があります。 点滴をとります。 陣痛促進剤を開始します。 硬膜外カテーテルを留置し、麻酔薬を開始します。 <p>★カテーテル留置のながれについては裏面をご覧ください。</p> | <p>【昼前後】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分娩進行に応じて、人工的に破水をして、分娩進行を促します。 分娩促進ケア（座る・マッサージ・アロマなど）を行います。 <p>※分娩の進行状況によっては、夕方に陣痛促進剤を止め、翌日朝から再開し、翌日以降のお産となる場合があります。</p> | <p>【お産が近づいてきたら】</p> <ul style="list-style-type: none"> 分娩台で、いきむ練習をスタッフと一緒にしていきます。 <p>【お産の時】</p> <ul style="list-style-type: none"> お腹の張り感やスタッフの声掛けに合わせてしっかりといきみます。赤ちゃんが降りてくるのを助けてあげます。 分娩を安全に進めるために、吸引分娩を行うことがあります。 <p>【お産後】</p> <ul style="list-style-type: none"> カテーテルを抜去し、着替えを行います。 お産の翌日以降、頭が痛い、おしっこが出にくいなどがあればお伝えください。 |
| | <p>【麻酔が開始されたら】</p> <ul style="list-style-type: none"> お産が終わるまで、ベッドの上で過ごします。 スタッフが、痛みの程度を確認します。保冷剤を使って麻酔の範囲を確認します。 痛みがあれば、遠慮なくお伝えください。 <p><すぐ伝えてほしい症状> 足が動かしにくい、息苦しい、腕がしびれる、口元がしびれる、耳鳴りがする</p>  | | | |
| お食事 | 制限はありません。 | ※赤ちゃんとお母さんの状態によって絶飲食が必要になる場合があります。 | | |
| 安静度 | 制限はありません。 | ベッド上で過ごします。 | 初回歩行はスタッフが付き添います。 | |
| シャワー | 制限はありません。 | 無痛分娩開始後は入れません。 | 分娩後翌日よりシャワー浴できます。 | |
| トイレ | 制限はありません。 | 無痛分娩を始める前にトイレに行きます。 | 無痛分娩開始後は、適時、スタッフの介助で導尿を行います。 | 分娩後 2 時間まではスタッフの介助で尿を管で取ります。初回歩行後からは 3～4 時間毎にトイレに行ってください。 |

📌 硬膜外カテーテル留置のながれ 📌

| 留置前の準備 |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> ① お母さんの心拍や血圧を測るモニターと胎児の心拍モニターを装着します。 ② 処置の間、帽子とマスクを着用します。 ③ 麻酔の処置は、ベッドに横向きに寝る、または座った姿勢で、図のように背中を丸めた姿勢で行います。 ④ 穿刺する部位に、細い針で皮膚の痛み止め（局所麻酔薬）を注射します。 |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">ベッドに横向きに寝て。</p>  <p style="font-size: small;">背中を丸めます。自分のあごを胸に、膝をお腹につけるようにして、お腹を引っ込めるイメージです。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">ベッド上に座り。</p>  <p style="font-size: small;">背中を丸めます。自分のあごを胸に、膝をお腹につけるようにして、お腹を引っ込めるイメージです。</p> </div> </div> |



| 硬膜外カテーテル留置 |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> ⑤ 腰椎と腰椎の間から、硬膜外腔というスペースに針を進め、そこに細いカテーテルを留置します。 ⑥ カテーテルを背中にテープで固定し、カテーテル留置の処置は終了です。 |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> |

図：一般社団法人 日本産科麻酔学会ホームページより引用